

北区長 花川與惣太 殿

2014年1月7日

北区後期高齢者医療保険および北区国民健康保険の 保険料改定に関する申し入れ

日本共産党北区議員団

幹事長 八巻 直人

日頃の区民福祉向上にご尽力いただきありがとうございます。

さて、昨年12月、東京都後期高齢者医療広域連合は、2014～15年度の保険料についての試算を明らかにしました。それによると一人あたりの平均保険料は10万2559円で、13年度比9,743円増（10.5%増）と過去最大の値上げ幅になります。これは高齢者の生活実態からみて到底容認できるものでなく、高齢者の負担増を避けるために、国と東京都の支援を思い切って増やすことを求めるべきです。

また、国民健康保険料について、12月3日、特別区長会に対し日本共産党都議団、23区の各議員団は、検討されている値上げをやめるためにあらゆる努力を行うことを申し入れました。

ご承知のように、4月は消費増税が予定され、加えて6月には新たな年金削減が実施されます。これに時期を合わせるように、後期高齢者医療保険料、国民健康保険料の値上げの通知が届くようなことになれば、こうした負担増による区民生活の大混乱は必至です。

そこで以下の申し入れを行います。

記

- 一、後期高齢者医療保険料値上げ反対の立場を表明すること。
- 一、1月区長会で国民健康保険料の値上げを承認しないこと。
- 一、国と東京都に対して、高すぎる両保険料の抑制のために、最大限の財政支援を求めること。
- 一、北区としても、両保険料の独自軽減策を実施すること。

以上